

## 日本機械学会中国四国支部シニア会 第5回講演会の報告

- 1 日時 令和元年11月16日(土) 15:00～16:50
- 2 場所 RCC文化センター 6階604室 (所在地:広島市中区橋本町5-11)
- 3 講演テーマ  
「30年後(2050年)のモビリティ社会に必要なもの  
ー自動運転技術は高齢社会変革の鍵となるのか?ー」
- 4 講師: 佛圓 哲朗 氏  
元 (株)マツダ株式会社  
現 香川大学 創造工学部 創造工学科 教授

### 5 講演概要:

講演前半は講師の佛圓教授が所属されている学科の紹介から始まり、自動車の電動化や自動運転技術などの歴史を以前勤務されておられた企業の開発秘話をまじえながら、講演された。現在、関心が高まっている自動運転技術の多くは、既に数十年前から取り組み、日本も先行していたという大変興味深い内容であった。

後半は、日本の将来予測(2050年)とモビリティの課題とクルマの進化の方向、ならびに高齢化社会となる我が国の暮らしを豊かにするための基本理念と方策案についての解説があった。人口減少、高齢化に対応するための精神的豊かさと自然との共生を目指した「和の社会」の考え方、それを実現するための「対話と共創」による連携の重要性など、多岐にわたる内容であった。聴講者からも数多くの質問がされ、活発な講演会となった。



第5回講演会の様子



講演会後の交流会の様子